

みんなで創る 外国語活動

大津由紀雄

慶應義塾大学

小学校英語教育シンポジウム

京都市立嵯峨小学校

2008年11月1日

この講演の段取り

1. 小学校英語の基礎知識
2. 小学校英語に反対する理由
3. どう対処したらよいのか、
つぎになにを目指すべきか
4. まとめ

小学校英語の基礎知識

1. 外国語(英語)活動と英語教育
2. 必修化と教科化
3. 「英語ノート」と教科書
4. 小学校英語と児童英語/早期英語

基礎知識 1:

「英語が使える日本人」の育成の
ための戦略構想、同行動計画

- 2002年7月 文科省「戦略構想」
- 2003年3月 文科省「行動計画」
- 遠山敦子文部科学大臣



戦略構想・行動計画と英語教育

- 「第2言語習得を基盤とする小、中、高、大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究」(平成16年度～19年度 日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究(A)、研究課題番号16202010) 研究代表者小池生夫、研究分担者22名、同協力者2名、補助金額約5000万円の大規模研究

戦略構想・行動計画と英語教育

- 私は、現状のままでは、日本人は国際コミュニケーションの世界から取り残されると強い危機感から警告を発し、今回従来の英語教育を見直す画期的対策を発表した。
- 「世界水準の英語教育」、「世界基準を見据えた英語教育」
- 「国家的な危機に対応する小池科研の研究成果と提言」(ちなみに、「国家的な危機に対応する」はどこにかかるか?)

戦略構想・行動計画と英語教育

- 小池科研の提案は、**トップダウン方式**である。即ち、国際業務の専門分野で十分に役に立つ英語コミュニケーション能力を設定して、それを最高到達基準値として明示する。まず国際ビジネスパーソンにとって適切なレベルを3段階基準で定め、逆順でその下の段階にある大学4年修了時までには到達するべき英語力を設定する。さらに逆順で達するべき高校卒、中学卒、小学校卒での英語コミュニケーション能力到達基準を割り出し、それぞれの目標に向かっての一貫したシステム、カリキュラム、教授法、学習法、教材、学習戦略、教師養成を再構成して提案する。そしてグローバル時代にふさわしい英語コミュニケーション能力の強化と人材の養成を提案する。

まずおさえておくべきこと

現在問題となっている小学校英語は、学校英語教育に対するある特定の考え方(目的と目標)の一環として捉えなくてはいけない。つまり、小学校英語のことだけを考えていてもその本質は掴めない。

基礎知識2: 必修化と教科化

1. 小学5・6年生対象 外国語活動
2. 必修ではあるが、教科ではない。中学校英語の前倒しではない。
3. スキル(運用能力)の育成を目標とするものではなく、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標とする。
4. ことばのおもしろさや豊かさに気づく。

第1 目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、**外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、**コミュニケーション能力の素地を養う。

第1 目標

言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、コミュニケーション能力の素地を養う。

第1 目標

主として母語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、母語や外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

スキル派とコミュニケーション派のせめぎ合い

- 現実的に考えても、中学校英語の前倒しは不可能である。
- しかし、「英語」の2文字はさまざまな考慮（「戦略構想」・「行動計画」（経済界、政府）、教育産業、大学英語教育界、大学、そして、国民）からはずすわけにはいかなかった。
- 文科省の解いた「最適解」
- 読み込みが大切である。
（cf.「やり過ごし」 江利川春雄）

基礎知識3:「英語ノート」



「英語ノート」の使い方について見解 菅正隆「『英語ノート』を使った『外国語活動』の授業」『英語教育』09/08

1. 教科書ではなく、法的な使用義務はない。
2. 国として提供する「共通教材」の1つ
3. 使い方にはさまざまな工夫が考えられる。

補足

小学校英語と
児童英語・早期英語は
まったく別物である。

つぎを見据えた危険な動き

1. より低学年での開始
 2. 教科化＝スキル育成（前倒し）
 3. 専科の教員
 4. 教科書
 5. 児童英語教育産業
- 教育再生懇談会第一次報告

いまなら引き返せる!

- 教員養成も正式には始まっていない。
- 専科の教員もいない。
- 教科書もない。
- 教育再生懇談会への要望書

教育産業関係者の最近の発言

- いまさら反対して何になる! あとは実践あるのみ。
- いまだに、小学校英語教育に反対している人なんているんですか!

この講演の段取り

1. 小学校英語の基礎知識
2. 小学校英語に反対する理由
3. どう対処したらよいのか、つぎになにを目指すべきか
4. まとめ

小学校英語に反対する理由1

- 小学校では、母語（と将来、外国語）の効果的運用を可能にする「ことばへの気づき」を育成すべきである。
- 「ことばへの気づき」なしでは、外国語の学習はうまくいかない。

ことばへの気づき

- おもしろい!
- えっ!
- 不思議だ!
- なぜ?
- 楽しい!

おもしろい!

かつぱ 谷川俊太郎
 かつぱかつぱらった
 かつぱらっぱかつぱらった
 とってちってた

かつぱなっぱかった
 かつぱなっぱいっぱかった
 かってきってくった

えっ!

- きたないから、さわっちゃだめ!
- [...は] きたないから、さわっちゃだめ
- そのお魚はきたないから、...!
- あなたの手はきたないから、...!

外国語学習に必要な概念

- 人称、数(、性)、一致
- 主語、動詞、目的語
- 時制、相(アスペクト)
- 句
- 主節、従属節
- 修飾

小学校英語に反対する理由2

- 一度、英語嫌いを作り出してしまうと、修復は困難である。
- そぎ落とし unlearning の難しさ
- 英語に対する特別視

小学校英語に反対する理由3

- 過密な小学校の時間割
- 荻谷剛彦・増田ユリヤ『欲ばり過ぎるニッポンの教育』(2006、講談社現代新書)
- 中高英語教員の研修の機会

この講演の段取り

1. 小学校英語の基礎知識
2. 小学校英語に反対する理由
3. どう対処したらよいのか、つぎになにを目指すべきか
4. まとめ

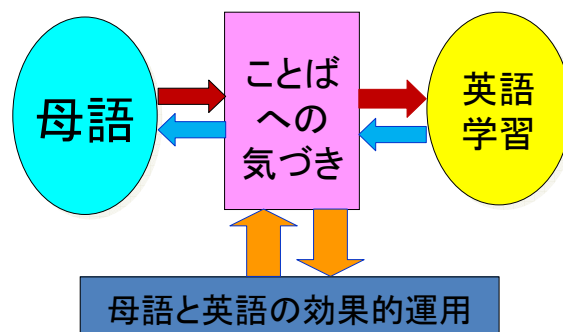
英語活動への対処の仕方

- 英語活動の時間を実質的に「ことばへの気づき」の時間にしてしまう。

小中連携という形で考えるなら

- 小学校では、子どもたちの母語を主たる対象として、「ことばへの気づき」を育成する。
- 中学校では、小学校で育成された「ことばへの気づき」を基盤に英語の仕組みと機能の基礎を教える。

母語と英語の効果的運用



なぜ俗説がはびこるのか？

- 【理由1】 ことばの仕組みや働きが見かけに反して、複雑で、豊かであることが一般に理解されていない。
- 【理由2】 外国語の学習が母語や第二言語の獲得とは異なることが一般に理解されていない。
- 【現状については】
言語学者の責任が大きい。

ことばの仕組みや働きは見かけに反して、抽象的で、複雑で、豊かであること

例を出しましょう

- (1) 2人の横綱が記者会見した。
- (2) 横綱が2人記者会見した。
- (3) 2人の横綱の母親が記者会見した。
- (4) 横綱の母親が2人記者会見した。

中学校以降の英語教育

- 明確な「目的と目標」の設定
- 英語の仕組みと機能
- 英語とのできるだけ多くの触れ合い
- 徹底的な練習

What's your name?

- Hello. My name is Ken.
What's your name?
- My name is Taro.
Nice to meet you.

本来は、...

- Hello. My name is Ken.
- Hello. My name is Taro.
Nice to meet you.

観光客に対して...

- Hello. My name is Ken.
What's your name?
- Oh! Hello, Ken. My name is John.
- Do you like apples?
- ?!?!?!?

こわい

目の

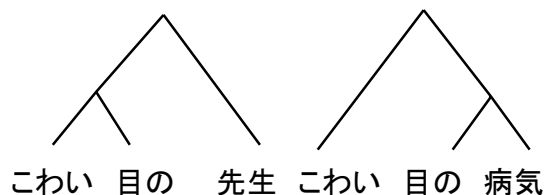
()

- 窪菌晴夫
- 先生、母、犬、怪獣、おばけ
- 病気、手術、色

山を重ねる---単語のまとめり

A型

B型



小学3年生の作品

- やさしい ひろさんの 娘
- やさしい 顔の 描き方



Grandpa pulls the turnip.
 Grandma pulls grandpa.
 The girl pulls grandma.
 The dog pulls the girl.
 The cat pulls the dog.
 The mouse pulls the cat.
 「英語ノート」 6年生用 Lesson 8



じっちゃんが かぶを ひっぱった
 ばっちゃんが じっちゃんを ひっぱった
 まごが ばっちゃんを ひっぱった
 いぬが まごを ひっぱった
 ねこが いぬを ひっぱった
 ねずみが ねこを ひっぱった。

http://www.labo-shuppan.jp/item.php?MODE=ITEMDETAIL&I_CATEGORY=2&I_ID=3&NEWITEM=ラボCDライブラリー版『かぶ』

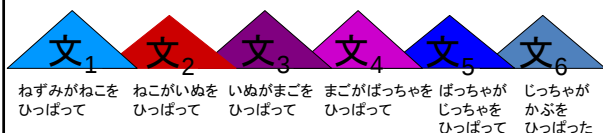


The mouse pulls the cat.
 The cat pulls the dog.
 The dog pulls the girl.
 The girl pulls grandma.
 Grandma pulls grandpa.
 Grandpa pulls at the turnip.



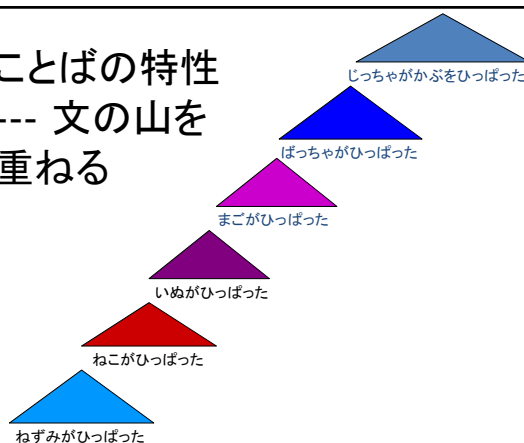
ねずみが ねこを ひっぱった
 ねこが いぬを ひっぱった
 いぬが まごを ひっぱった
 まごが ばっちゃんを ひっぱった
 ばっちゃんが じっちゃんを ひっぱった
 じっちゃんが かぶを ひっぱった。

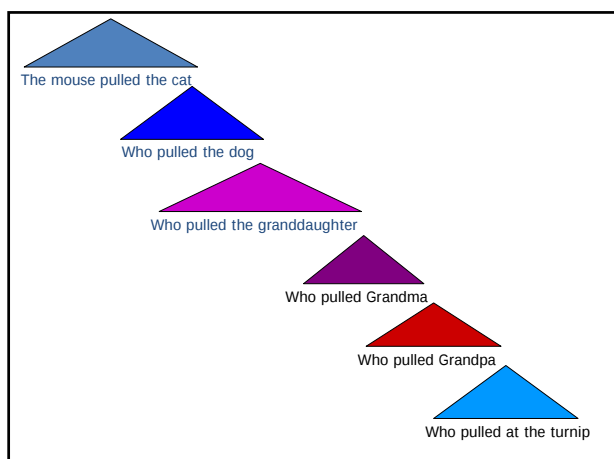
ことばの特性 --- 文の山を連ねる



列車と違って、
 いくらでも連結できる。

ことばの特性 --- 文の山を 重ねる





齋藤菊枝実践

プランクトンを小魚が食べて、
小魚を大きな魚が食べて、
大きな魚を人間が食べて、
人間をサメが食べた。
小学5年生

小学生の感想

- いつも考えてもいなかったことばを改めて勉強すると難しかった。でも、ことばはふしぎだなあと思った。1つの文でも2つの意味を持っていたり、とにかくおもしろかった。

小学生の感想

- ことばはおもしろく、楽しい。ことばのことがよく分かって楽しかった。ことばは難しい。
- 1つの文でも2つの意味があるというのを聞いて、話しているときの聞き間違いがこわいと思った。文に書くときには、読点が大事だと思った。

「ことばへの気づき」教育の基盤にある考え方

1. 新たな知識の伝授以上に教育にとって大切なのは子どもたちの気づきを誘発し、子どもたちが気づきの対象の性質を自ら探る支援をすることである。

「ことばへの気づき」教育の基盤にある考え方

2. ことば以上にその対象としてふさわしいものはない。なぜなら、ことばは人間だけに、しかも、人間に平等に与えられた宝物であるから。

「ことばへの気づき」教育の 基盤にある考え方

3. ことばへの気づきのきっかけ作りは直感の利く母語を対象にすべきである。
4. 母語を対象に育成された、ことばへの気づきは外国語学習の基盤として不可欠である。

つぎにめざすべきもの

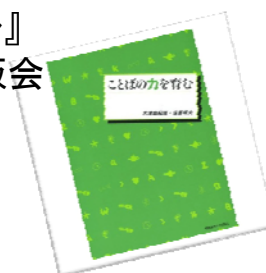
- 小学校における「ことば活動」の導入

京都に期待すること

- 京都は「上からの押しつけ」に対して、常に批判的であった。
- そして、伝統を守ってきた。
- 押しつけの小学校英語に反対し、自前のことば教育を実現しよう！

お薦めの本

大津由紀雄・窪園晴夫. 2008.
『ことばの力を育む』
慶應義塾大学出版会



ついでですので、

『ことばのからくり(全4冊)』(絵本)
(岩波)
『探検! ことばの世界』(ひつじ)
『ことばに魅せられて 対話篇』(ひつじ)
『英文法の疑問』(NHK)
『英語学習7つの誤解』(NHK)

連絡先

oyukio@sfc.keio.ac.jp
<http://www.icl.keio.ac.jp/>
108-8345
東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学言語文化研究所
大津由紀雄研究室